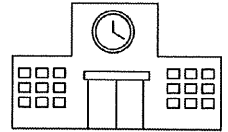


新中学1年生
セ三十一



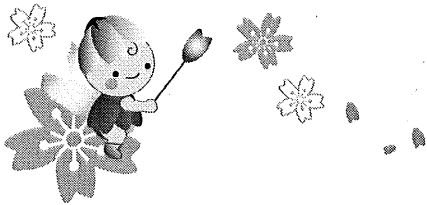
富山育英センター富山本部校中学部

中学校とはこんなところ!!



授業について

授業の進みが速い!!
勉強が難しい!!
授業時間は 50 分!!
予習が必要になる!!
教科ごとに先生がかわる。
体育が男女に分かれる。
教室移動がある。



その他

部活動がある。
部活で帰りが遅くなる。
→勉強時間の確保が重要
→寝る時間が短くなるかも!?
先輩と後輩の関係がはっきりしている。
規則などが厳しい。
生徒数が多い。

テスト・宿題について

テストが難しい!!
テスト範囲が広い!!
テストの問題数が増える。
宿題の量が多い!!
教科ごとに宿題が出る。



【英語】

中学生の英語では「聞く(listening)」、「話す(speaking)」力に加えて、「読む(reading)」、「書く(writing)」力が重要になります。現在の入試では、文章量が増加し、英作文力を試す問題が多くなっています。英語をしっかりと身につけるためには、この4つの要素をバランスよく練習することが大切になります。

まずは、英語の正しい発音を理解するために教科書本文の音声をCD等で聞き、音読しましょう。耳で聞いた英語を、口に出してまねることで「聞く・話す」練習ができます。

次に、教科書に出てきた単語や文章をノートに書き取り、その後に日本語に直す練習をしましょう。学校の定期テストで点数を取るためには、本文に出てくる太字の重要単語・基本文の理解が欠かせません。書き取り→内容理解の作業は大変に思えますが、慣れてくると英文を書くと同時にどのような内容が書かれてあるのかもわかってきます。

「聞く・話す」にしても「読む・書く」にしても、継続することが重要です。根気良く続けることで、英語の力がしっかりつきます。私達と一緒に、あきらめずコツコツと頑張りましょう！

【数学】

数学は、ご存知の通り小学校の「算数」のことです。ただし、学習する内容は大幅に増えます。また、2・3年生時には、新しく「なぜそうなるのか」を式や文章で説明する単元を学習します。計算だけでなく、式や文章を使って、自分の考えを表現することが求められます。計算、作図、説明…とあらゆる形式で中学校数学の理解度が問われます。

みなさん、「間違えた問題は答えを赤ペンで書き直して終わり」という経験はないですか？もし、心当たりがあれば、すぐにやめましょう。間違えた問題の原因を考えず、ただ書き直すだけでは、自分の進歩を止めるだけとなり、テストの結果もついてきません。日ごろから、学校・塾の教材に取り組み、間違えた問題の見直し、復習を心がけましょう。この行動こそが、自分自身の理解度アップにつながり、また、「自分がいつもどのようなミスをするのか」という自己分析にもつながります。

【国語】

中学校の国語では、小学校のときよりも長く難しい文章を読むことになります。そのため、速く的確に読む力が求められます。国語は、点数をのばすのに時間がかかる教科です。1年生のうちから、本や新聞を読むなど、毎日15分ずつ活字に触れる時間をとりましょう。そのときには、読んだページで大切だと思うところを要約してみましょう。また、本や新聞では難しい言葉やわからない漢字が出てきます。そのたびに、調べたり、聞いたりして言葉の知識を増やしていきましょう。

漢字については、中学校でも新しい漢字を多く学習します。漢字を覚えるときは、単なる語句練習（二字熟語等）ではなく、短文の形で学習し、同音異義語や同訓異字等の区別もしっかりとしましょう。また、小学校で習った漢字を確実に書けるようにすることも大切です。

【社会】

中学校の社会は、1・2年生で地理と歴史、3年生で歴史と公民の学習をします。どの分野も小学校の学習内容の発展を含みますが、覚えることが多くなります。つまり、ただ「暗記する」のではなく、図やグラフ等と関連づけて「理解する」ことが大切になっていきます。

《地理の特徴と勉強法》

小学校の学習では日本地理が中心でしたが、中学校では、アメリカ・ヨーロッパ・中国といった世界地理についても学習します。世界地理についての学習では、世界地図をよく使います。世界地図は、各国の位置を確認するだけでなく、2国間の距離や時差などについても考えていくので、地図の特徴を覚えることがとても大切になります。1年生の1学期に地図に関する大事な内容（経線・緯線など）が出てくるので、きちんと理解しておきましょう。また、県名や県庁所在地といった小学校で習ったことも登場します。

さらに、地理の勉強では、「資料読み取り」に慣れることが大切です。資料から読み取れることや原因を記述するのですが、慣れるには時間がかかります。まずは、資料や写真を見て「わかること」を考え、「なぜ？」と思うようにしていきましょう。

《歴史の特徴と勉強方法》

歴史分野では、小学校の学習内容の他、中国やヨーロッパなど世界の歴史も扱うので、同じ時期に世界と日本でどのような出来事が起こったのかをきちんと整理する必要があります。1つ1つの出来事を覚えていくときは、必ず「いつ」「だれが」「なぜ・何のために」を結びつけて覚え、流れをつかみましょう。また、テストで点数を取るためには出来事や人物名が漢字で書けることや、教科書や資料集にある写真や資料を見ておくことも大事です。

【理科】

中学校の理科は、各学年で物理・化学・生物・地学について学習します。どの分野でも、実験・観察が多く扱われるため、教科書に載っている図やグラフについてしっかりと理解していくことが大切になります。

理科の学習法は、「暗記」「計算」「記述」の3種類に分けられます。各分野の内容は、さらに細かい単元に分かれているため、単元ごとにノートにまとめることがおすすめです。

まず、暗記については、教科書に載っている重要な図をノートにうつし、その中に用語を書き込みましょう。この作業は、1回で終わるのではなく、自信がつくまで繰り返し行うことが大切です。重要な語句は、しっかりと漢字で書けるようにしておきましょう。

計算問題は、テキストや問題集の例題をよく理解し、類似問題を反復することが重要です。例題の段階で、分からないところがあれば、先生に質問しましょう。

記述問題は、文章による記述と、グラフや図をかく作図問題の2種類に分けられます。どの記述問題も、教科書を基本としたものがほとんどです。ですから、教科書をしっかりと読み、理解し、繰り返し問題に取り組んでみましょう。



今年度高校入試概要

令和3年度入試日程 一般入試3月9日・10日

	出願期間	試験日	合格発表日
全日制推薦	2/1(月)～2/3(水) 正午まで	2/9(火) (面接・作文 実技など)	2/15(月) (選考結果通知書を 高校から中学校に発送)
全日制一般	2/24(水)～2/26(金) 正午まで	3/9(火)・3/10(水) 学力検査 (追検査日3/15)	3/18(木) 午後0時30分
全日制2次	3/19(金)・3/22(月) 午後4時まで	実施せず (上記学力検査結果 と調査書等で選抜)	3/25(木) 午後0時30分

学力検査時間割

	3月9日(火)			3月10日(水)	
時限	1限	2限	3限	1限	2限
教科	社会	国語	理科	英語	数学
時刻	9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	聞き取り 9:30～9:45※ 筆記 10:00～10:40	11:00～11:50
時間	50分	50分	50分	50分	50分
配点	40点	40点	40点	40点	40点

※英語の聞き取りテストについては時間内に10分間程度で実施。

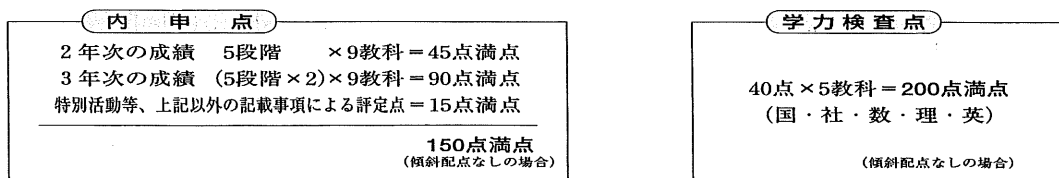
過去の学力検査平均点

(100点満点に換算してあります。)

	総合	国語	社会	数学	理科	英語
令和2年度	55.7	64.7	60.5	47.1	51.2	54.8
平成31年度	59.6	64.0	69.4	61.3	50.1	53.3
平成30年度	60.7	66.8	68.5	49.9	60.2	58.2

合否決定のしくみ

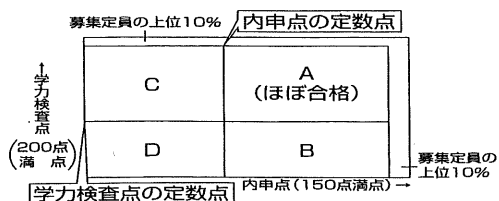
調査書と学力検査が合否を決める!



内申点と学力検査点で総合的に判断する

合 否 決 定

合否相関図 (推定)



受験生は、各受験高校・学科ごとに内申点と学力検査点により左図のようなゾーンにわけられます。Aのゾーンに入っている生徒が、ほぼ合格となり、順次BやCから各高校長の判断により合格者が決定されると推測されます。また、内申点と学力検査点のどちらか一方が募集定員(推薦入学確約者数を除く)の上位10%以内であれば、合格できる制度も設けられています。

定数点 最高得点より数えて、定員の人数分に該当する点
(例: 定員200名の高校なら200位の生徒の得点)

調査書（内申書）について

調査書とは

中学校から高校に提出される、生徒の成績、生活態度、特技などを記録・評価したものです。

内申点とは、この中の学習の記録の評定点と特別活動等の記載事項を換算したものによる評定点のことをいいます。

- 学 籍・・・氏名、生年月日、現住所、卒業（見込）年月等を記入。
- 欠 席・・・欠席日数と、各学年の欠席日数が総計10日以上の場合はその主な理由について記入。
- 総合的な学習の時間・・・「問題解決の能力」「情報活用能力」および各学校で記載する観点で評価。また、学習状況における顕著な事柄を全員について記述。
- 特別活動・・・「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」の3つについて評価。
- 部活動等・・・所属部と、そこで目立った活動や実績、また部活動以外の顕著な活動などを記入。
- 行動の記録・・・「基本的な生活習慣」「責任感」など、10項目について評価。
- 趣味・特技・・・顕著なものや、取得した資格（英語検定や漢字検定等）を記入。
- 学習の記録・・・必修教科について2年次、3年次とも5段階で評価。必修教科について、観点別に3段階で評価。
- 備 考・・・高校2年次から開設される普通科の各コースを希望する生徒は、その旨を記入。
職業に関する学科のうち、将来の進路に関する本人および保護者の希望など、特記すべきことがあれば記述。

総合的な学習の時間

「問題解決の能力」「情報活用能力」及び、各学校で記載する観点で評価し、学習状況における顕著な事柄を生徒全員について文章で記述。

	十分満足できると判断される	その他
評 価	○	空欄

（第3学年の評価を中心に総合的に記載）

「学習活動等」の欄には、学習状況における顕著な事柄について、その特徴など、生徒にどのような力が身についたかを、生徒全員について文章で記述。

特別活動

「学級活動」「生徒会活動」「学校行事」の3つについて各々定められた観点から評定。

	十分満足できる状況にあると判断される	その他
評 価	○	空欄

（第3学年の評価を中心に総合的に記載）

また、3つについて、所属、役員または顕著な活動など、3年間の主なものを記入。

行動の記録

定められた10項目について、評定。

	十分満足できる状況にあると判断される	その他
評 価	○	空欄

（第3学年の評価を中心に総合的に記載）

また、「所見」欄には行動の状況等について、その特質を明らかにするとと思われる具体的事実等を全員について記述。

学習の記録

必修教科（9教科）について、2年次、3年次とも5・4・3・2・1の5段階で記載。

（3年次の成績は、2学期末のもの）

観点別学習状況評価 9教科について、3年次1・2学期末評価を総括して、最大5つの観点ごとに、各学校で実現の状況をA（十分満足できると判断されるもの）、B（おおむね満足できると判断されるもの）、C（努力を要すると判断されるもの）の3段階で評価。

特 記 事 項 必修教科や選択教科について顕著なものがあれば、具体的な状況を記述する。また、専門に関する学科を志望する者については、適性等に顕著なものがあれば記述する。

国立高専の入試

高専とは高等専門学校略称で、各分野の未来のスペシャリストを育てるための学校です。
5年制で低学年から専門的な科目を学び、実験・実習が多く行われます。卒業後は専攻科への進学や4年制大学の3年生に試験を受けて編入することもできます。

国立高専の入試(入学者選抜学力検査)は、全ての教科でマークシート方式による解答方法が導入されています。

令和3年度入試情報

富山高専専門学校

学 科		募集人員	出願期間	試験日	結果通知／合格発表
本郷 キャンパス	機械システム工学	40名(推薦50％以内)	推 薦 1/5(火)～1/7(木)	1/17(日)	1/21(木)／2/25(木) 入学確約書提出期限＝1/28(木)
	電気制御システム工学	40名(〃)			
	物 質 化 学 工 学	40名(〃)			
射水 キャンパス	電 子 情 報 工 学	40名(〃)	学 力 検 査 2/1(月)～2/4(木)	2/21(日)	2/25(木) 入学確約書提出期限＝3/3(水)
	国際ビジネス学	40名(〃)			
	商船学	40名(〃)			
	航海コース	2年次より希望と成績により 2コースに分かれる。			
	機関コース				

令和3年度より機械システム工学科・電気制御システム工学科・電子情報工学科の3学科で「AI・ロボット学類」が構成されます。

石川工業高等専門学校

学 科	募集人員	出願期間	試験日	結果通知/合格発表
機 械 工 学	40名(推薦17名程度)	推 薦 1/6(水)～1/12(火)	1/23(土)	1/27(水)／2/26(金) 意志確認書提出期限=2/2(火)
電 気 工 学	40名(〃)			
電子情報工学	40名(〃)	学力検査 1/29(金)～2/4(木)	2/21(日)	2/26(金) 意志確認書提出期限=3/4(木)
環境都市工学	40名(〃)			
建 築 学	40名(〃)			

※令和3年度は、富山高専・石川高専とも、新型コロナウイルス等感染症罹患の場合など一定条件のもと、追試験日が設けられます。

高専と県立高校の併願は？

富山高専は富山県立高校と入試日が異なるため、県立高校志望者でも出願して受験することは可能です。ただし、富山高専に合格して入学を希望する場合は、指定の期日(3月3日)までに入学確約書の提出が必要です。また、合格者に対する入学説明会(富山県立高校の入試日初日)に出席しないと、入学辞退として取り扱われます。すなわち、富山高専と県立高校の両方を受験後、進学先を決めることは不可能です。また、石川高専も、意志確認書提出後は公立高校を受験することが原則としてできない専断制です。

推薦入試では

推薦入試の出願資格として、基本的な資格のほかに下記条件が設けられています。なお、推薦書および調査書と、面接の結果を総合して選抜が行われます。

〈富山高専〉

機械システム工学・電気制御システム工学・物質化学工学・電子情報工学・国際ビジネス学科では、中学3年生次の調査書の学習記録評定(5段階)が5教科(数学・理科・英語・国語・社会)合計20以上、かつ9教科合計が32以上。
商船学科では、9教科合計32以上。

〈石川高専〉

中学3年生次の学業成績が全体の上位20%内にあること。

また、富山高専の推薦入試では次の通り調査書の学習記録評定が取り扱われます。

機械システム工学・電気制御システム工学・物質化学工学・電子情報工学 ⇒ 数学、理科を重視して選抜を実施。

国際ビジネス学科 ⇒ 英語を重視して選抜を実施。

商船学科 ⇒ 9教科を均等に扱い、選抜を実施。

なお、面接評価点に必要最低得点が定められ、それに満たない受験生は選抜対象から外されます。

石川高専の推薦入試では試験日に、面接のほかに数学の適性検査が実施されます。

学力検査では

〈富山高専〉

理科・英語・数学・国語・社会の順に5教科のマークシート方式の筆記試験を実施。各教科100点満点。

学力検査500点満点 + 調査書200点満点 = 700点満点

受験生の総合判定結果をもとに各学科で順位がつけられます。総合判定結果によっては、当該学科が第2または第3志望者である者が合格する場合もあります。

〈石川高専〉

理科・英語・数学・国語の順に4教科のマークシート方式の筆記試験を実施。

学力検査400点満点と調査書をもとに総合的に判定。

令和2年度入試結果

富山高専専門学校

学 科		募 集 人 員	推 薦 入 試			学 力 検 査		
			志願者数	合格者数	倍 率	志願者数	合格者数	倍 率
本郷 キャンパス	機械システム工学	40名(推薦50%以内)	31	21	1.48	64	21	3.05
	電気制御システム工学	40名(〃)	35	20	1.75	57	23	2.48
	物質化学工学	40名(〃)	39	21	1.86	59	20	2.95
射水 キャンパス	電子情報工学	40名(〃)	38	20	1.90	72	21	3.43
	国際ビジネス学	40名(〃)	66	20	3.30	72	23	3.13
	商 船 学	40名(〃)	35	22	1.59	50	21	2.38

各倍率=各志願者数/各合格者数

石川工業高等専門学校

学 科	募集人員	推 薦 入 試			学 力 検 査		
		志願者数	合格者数	倍 率	志願者数	合格者数	倍 率
機 械 工 学	40名(推薦17名程度)	23	17	1.35	33	25	1.32
電 気 工 学	40名(〃)	51	18	2.83	57	24	2.38
電子情報工学	40名(〃)	50	18	2.78	81	23	3.52
環境都市工学	40名(〃)	40	17	2.35	52	25	2.08
建 築 学	40名(〃)	48	17	2.82	69	24	2.88

各倍率=各志願者数/各合格者数

両高専とも「学力検査」の志願者数には、「推薦入試」で合格内定とならず、「学力検査」を志願した数を含む。

富山本部校中学部の学習支援体制

①富山本部校 定期考査対策週間

各中学校の定期考査に合わせて、通常授業をテスト対策にシフトします。通知票(後の内申書)に大きく影響するテストですので、出題されやすいポイントをまとめて演習・解説します。

②塾内テスト

塾での学習習熟度確認のため、定期的に塾内テストを実施しています。中学校の定期考査の対策になるように作成しており、順位や偏差値等を記載した成績表もお渡しいたします。

③育英模試・チャレンジテスト

中学3年次は富山県内受験者数最多の県立高校入試模擬試験(全7回)、中学1・2年次は年間各1回のチャレンジテストを実施。現時点での総合力を客観的に評価します。進路選択における重要な参考資料となります。3月13日(土)に新中1チャレンジテストを実施いたします。中3の育英模試は5教科ですが、新中1チャレンジテストは国語と算数の2教科です。

④春期・夏期・冬期講習

育英センターの講習は受験対応力の育成を目指して実施致します。通常期間の授業は新しく学習する内容への理解を深めることが目的ですが、講習期間は復習、即ち受験のための学習となります。受験に向けての基礎力・応用力の養成がこの期間の目標です。

⑤保護者会・進学相談会

各学期や講習時期に保護者会を実施いたします。皆様方の当センターへのご要望をお承りする機会ですので、ぜひご参加下さい。また、中学3年生については模試実施後に進学相談会を実施していきます。現時点での受験生の動向分析、志望校の設定、合格スケジュール設定を個別に行っていく会です。可能な限り三者でお越し頂くことをお願いしております。

⑥高校入試説明会

毎年、春と秋に高校入試説明会を実施しております。塾生以外の方もご参加頂ける会ですが、富山本部校ではそれ以外にも進学相談会などで独自分析による最新の受験情報をご提供しております。ご相談ございましたら、ぜひ活用下さい。4月18日(日)に今年度入試を総括した春季高校入試説明会を富山国際会議場で実施いたします。

⑦ステイホーム特講、大晦日・正月特訓、入試直前予想問題演習特講

中学3年を対象のオプション講座となります。ライバルに差をつける最大のチャンスで、毎年多くの生徒が参加します。

新中1選抜コースについてのご案内

富山育英センター中学部

選抜コースには3つのクラス（HL・AD・SS）があり、概要は以下の通りです。

【中1ハイレベル（HL）クラス】

開講校舎 / 富山本部校

科 目 / 英語・数学（週1回・各80分）

※高校受験コースの国語・社会・理科（週1回・各60分）も受講できます

○中高一貫指導により、最難関レベルの高校・学科の合格だけでなく、最難関レベルの大学・学科の合格を見据えたクラスとなります。

○高校受験コース（SSクラス含む）とは異なるハイレベルなテキストを使用し、中学校の学習進度には準拠せず、中2終了時までには中学校で学習する内容を習熟し、中3では高校内容の指導を行います。

【中1アドバンス（AD）クラス】

開講校舎 / 富山本部校

科 目 / 英語・数学（週1回・各80分）

※高校受験コースの国語・社会・理科（週1回・各60分）も受講できます

○最難関レベルの高校・学科の合格を目標とする選抜クラスで、早くから大学受験を見据えた指導を行います。

○高校受験コース（SSクラス含む）とは異なるハイレベルなテキストを使用し、中学校の学習進度には準拠しないカリキュラムを編成します。

【中1SSクラス】

開講校舎 / 富山本部校

科 目 / 英語・数学（週1回・各80分）

※高校受験コースの国語・社会・理科（週1回・各60分）も受講できます

○富山県の最高位の高校合格を目標とする選抜クラスです。

○富山大学附属中学校に進学された方はSSFクラス、公立中学校に進学された方はSSクラスに所属します。

○各中学校の定期テストで結果を出すことを第一に考え、中学校の学習進度に準拠したテキストを使用します。また、発展的な内容も授業に盛り込み、1年次から高校受験を見据えた指導を行います。

【選抜方法について】

- 選抜コース受講のためには、『選抜コース クラス分け試験』を受験する必要があります。
- 『選抜コース クラス分け試験』は令和3年3月21日(日)に実施します。**小学校既習内容・中学内容事前課題および、育英センター中学準備授業内容を範囲とした試験です。**
- 中学入試プレテストの成績優秀者には、選抜コースの推薦書を発行しています。ただし、『選抜コース クラス分け試験』において、クラス分けを行いますので、希望者は全員受験してください。
- 中学入試プレテストの結果による推薦資格の無い生徒を対象として、選抜コースに若干名の枠を設けます。希望者は『選抜コース クラス分け試験』を受験してください。

『選抜コース クラス分け試験』

実施日時／3月21日(日) 10:00集合

10:10～11:00 英語(事前課題あり)・国語

11:10～12:00 数学(事前課題あり)・算数

試験場所／富山本母校 別館(教室は当日掲示します)

受付／別紙「選抜コース クラス分け試験 申込書」を3月20日(土)までに、
富山本母校の1階受付にご提出下さい。

結果連絡／春期講習最終日の授業またはお電話でお知らせいたします。

【育英センター 小中高一貫教育について】

小学6年生

中学1～3年生

高校1～3年生

ハイレベルVクラス
中学受験Vクラス
小学本科クラス

選抜コース	HL(片山・附属・公立)	
	AD1(附属・公立)	
	AD2(附属・公立)	
	S.S.F(附属)	S.S(公立)
高校受験コース	S(公立)	
	M(公立)	
	G(公立)	
片山学園対象コース	K(片山)	

HL
高1 高校別クラス
高2 高校別文系・理系クラス
高3 志望別クラス

※中1の3月に実施予定の、「新中2チャレンジテスト」の成績によって、中2の選抜コースのクラス分けを行います。

※中3からHLクラス、Kクラスともに育英センター高校部の教師が授業を担当し、大学受験を見据えた指導を行います。